



平成26年度 全国研究集会のご案内

総合テーマ：「専門図書館の未来～生まれ変わる専図協からのメッセージ～」

平成26年4月、専門図書館協議会は全国一元化され、力強い第一歩を踏み出しました。専門図書館を取り巻く内外の環境が大きく変わろうとしているなか、新生・専門図書館協議会は「日本の専門図書館界のプラットフォーム」となるべく、全国に展開する専門図書館・専門情報機関と有機的な連携を図り、専門図書館の未来について、皆さまとともに考え、語り合い、行動していきたいと思えます。

専門図書館を取り巻く環境の変化に何をなすべきか。専門図書館の未来をどのように描いていくのか。そのために、専門図書館はどのように変わっていくべきなのか。今回の全国研究集会では、これらの問いかけを出発点に、専門図書館の未来について考えていきます。皆さまの参加をお待ちしております。

期 日：平成26年7月8日（火）9日（水）

会 場：機械振興会館（東京都港区芝公園 3-5-8）

主 催：専門図書館協議会

共 催：一般財団法人 機械振興協会（予定）

後 援：国立国会図書館（公社）日本図書館協会（独）科学技術振興機構（一社）情報科学技術協会（予定）

	時 間	事 項	行 事 内 容	会 場
7 月 8 日 (火)	12:30～13:30	受付		ホール (B2 階)
	13:30～13:40	主催者開会挨拶	専門図書館協議会 中村利雄理事長	
	13:40～13:50	共催者挨拶	一般財団法人 機械振興協会 経済研究所 所長（予定）	
	13:50～14:30	来賓挨拶	国立国会図書館館長（予定） （公社）日本図書館協会理事長（予定） （独）科学技術振興機構理事長（予定） ※米国専門図書館協会（SLA）代表メッセージ	
	14:30～14:50	表彰式		
	14:50～15:00	休憩		
	15:00～15:30	協賛会社 メッセージ	(株)ブレインテック、日経 BP 社、社会福祉法人埼玉福祉会	
	15:30～15:40	休憩		
	15:40～17:10	記念講演	大平 貴之 氏（プラネタリウム・クリエイター） 「地上最高の星空づくりを目指して ～MEGASTAR 開発ストーリー～」 子供のころから物の成り立ちや仕組みに興味を示し、植物栽培や科学実験、花火、ジェットエンジン、ロケットなど様々な物作りに取り組んできました。世界最高峰のプラネタリウム「MEGASTAR」を完成させるまでの道のりと、どうやって課題や問題をクリアしてきたかについてお話しします。そして、社員を抱え会社の代表となった今、星空を作るという仕事の社会的意義や今後のビジョンなどについてもお話しします。	
	17:10～17:20	休 憩	会場移動	
17:20～19:00	会 員 交流会	会員相互と協賛会社との交流の場	5 階倶楽部	

第1分科会

「 コンソーシアム活動の課題と展望～電子資料の安定的提供のために～」

本分科会では、大学・研究所・企業が、研究・企業活動を展開する上で、不可欠な情報源となっている電子ジャーナル・データベースの安定的提供のために、今、何が課題となっているのか、理解を深め、今後、専門図書館が取るべき戦略について検討します。

電子ジャーナル・データベースへの利用者ニーズが高まる一方で、その継続的講読の維持や拡充は、国際的な論文数の増加や海外出版社の寡占状態などによる講読料の値上げや、最近の円安の影響を受け、図書館に多大な財政負担をもたらし、ますます難しくなっています。

本分科会では、コンソーシアムの立ち上げ、ベンダーとの交渉、コンソーシアム活動の運営で、中心的な役割を担われてきたお二人をお迎えし、専門図書館の電子資料契約の最前線についてお話しいただきます。

・分科会は講師の発表のあと、フロアーとの質疑応答形式で進めていきます。

① 宮内洋一氏 (アステラス製薬㈱/
日本薬学図書館協議会 JMLA・JPLA コンソーシアム委員長)

「 医学・薬学系コンソーシアムの取組み 」

② 田邊浩介氏 ((独)物質・材料研究機構/
(独) 究図書館コンソーシアム連絡会 (JNLIC))

「 研究独法図書館コンソーシアムの事例紹介 —

先端研究の現場から 」

司会：村井友子 ((独) 日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館) 運営：手塚久男 (東芝ビジネス&ライフサービス㈱)

第2分科会

「 専門図書館員のための認定資格制度を考える 」

専図協では2013年10月に運営委員会の下に認定資格検討小委員会を発足させ、専門図書館員のための認定資格制度の設立に向けた検討を行ってきました。本分科会では、委員会での検討事項を専門情報機関で働く方々に広く知っていただき、今後の専門図書館員の能力開発のあり方を考えるきっかけとしたいと考えています。分科会では、まず、委員会の委員長がこれまでの検討内容を踏まえ、認定資格制度が必要とされる背景、制度の概要などを説明します。次に、先行事例として日本医学図書館協会の「ヘルスサイエンス情報専門員認定資格制度」を取り上げ、同制度運営委員会の委員長に、制度設立の経緯、制度の紹介、今後の課題などを講演していただきます。最後に、2つの制度の内容を踏まえ、講師と参加者との間で、質疑応答と意見交換を行います。

① 長谷川 昭子氏 (専図協認定資格検討小委員会委員長
/日本大学文理学部(非常勤講師))

「 専門図書館員のための認定資格制度の設立に向けて 」

② 城山 泰彦氏 (順天堂大学図書館)

「 NPO 法人日本医学図書館協会認定資格

「ヘルスサイエンス情報専門員」：制度の概要と今後の課題 」

司会：青柳英治 (専図協認定資格検討小委員会委員/明治大学准教授) 運営：木村美実子 ((独) 科学技術振興機構)

第3分科会

「 企業図書館と著作権の今 」

著作権法第31条「図書館等における複製」が適用されない企業の図書館にも、複写サービスのほか、情報加工、情報発信のほか資料保存のためのメディア変換等々著作権に関わる様々な業務があります。著作権法を遵守し、利用者が満足するサービスを提供し、権利者とのトラブルを未然に防ぐためにも、TPPを含む国際的な動きとこれに合わせた国内法の改正の動向にも常に留意する必要があります。

本分科会では、著作権管理団体としての立場から、改正著作権法の内容とその影響や国会図書館のPD著作物のデジタル配信化、さらに企業図書館が抱える蔵書電子化に係る問題点について日本複製権センターの電子ファイル許諾等での対応について説明していただきます。また事例として、一企業として広く一般に公開している文化施設で発生する著作権問題とその対応について報告します。

① 稲田孝哉氏 ((公社)日本複製権センター)
「 企業図書館を取り巻く著作権動向について 」

② 山崎美和氏 (専図協著作権委員会委員/
凸版印刷㈱印刷博物館ライブラリー)

「 企業の文化施設と著作権—凸版印刷株式会社印刷博物館ライブラリーの事例報告 」

司会：松谷貴己 (専図協著作権委員会委員/日本化薬㈱) 運営：関口陽一 (専図協著作権委員会委員/㈱日本政策投資銀行)

第4分科会

「 つながる専門図書館 」

第4分科会では「図書館のつながり」をテーマに、専門図書館同士の連携、専門図書館と他館種との連携の2つの側面から考えてみます。専門図書館同士の連携としては、現在BICライブラリと市政専門図書館の間で進めている横断検索のシステム構築に携わっている㈱カーリルが、システムの現状や専門図書館間における横断検索の今後の課題などを報告します。専門図書館と他館種との連携については、専門図書館と公共図書館や大学図書館の関係者による検討委員会において、抱えている問題点や今後の協力の可能性などをさぐった事例を取り上げ、その内容報告を中心に行います。

① 吉本龍司氏 (㈱カーリル)
「 これからの横断検索を考えるー
カーリルがつなぐ専門図書館 」

② ミニシンポジウム「 専門図書館と他館種図書館との連携、その先 」
菊池健司氏 (㈱日本能率協会総合研究所)
林賢紀氏 ((独)国際農林水産業研究センター)
結城智里氏 ((一財)機械振興協会 BIC ライブラリ)

司会 : 田村靖弘 ((公財) 後藤・安田記念東京都市研究所市政専門図書館) 運営 : 高土正巳 (東京商工会議所)

第5分科会

「 図書館の価値を高める 」

図書館のサービスは日々進化します。図書館を取り巻く環境も日々変化していきます。この分科会では専門図書館の存在意義を基本に据え、従来のサービスを革新し、資料の価値を再認識させるようにするなど、利用していただく方々に、また組織全体へのアピールをするため、さまざまな方法で図書館の価値を高めている図書館を紹介します。具体的な事例として、日立製作所の蔵書の充実、選択と集中、各種広報の改善強化による利用実績の増大への取り組み、川崎図書館では、社史コレクションを活用した利用促進の取り組み、そして、図書館の価値を高める方法の一つとして、新着雑誌記事速報を中心にその応用事例を含め、他機関提供のAPI等を活用したサービスについて報告します。

① 柳一美氏 ((株) 日立製作所)
「 企業図書室の取り組み 」

② 高田高史氏 (神奈川県立川崎図書館)
「 社史室の魅力を発信する 」

③ 牧野雄二氏 (㈱ヴィアックス)
「 新着雑誌記事速報から始めてみよう :
RSS・API を活用した図書館サービス 」

司会 : 齋藤久実子 (神奈川県立川崎図書館) 運営 : 村瀬菜都子 (ラクオリア創薬㈱)

第6分科会

「 場としての専門図書館 」

電子書籍、電子ジャーナルなど、デジタル媒体資料が増加し、デジタル・ライブラリー化が進む一方、人と資料、人と人をつなぐ場、来館者を触発する「場としての図書館」や、コミュニティの核としての居心地のよい場所=第三の場(サードプレイス)としての図書館の場づくりへの取り組みが始まっています。

第6分科会では、専門図書館での気持ちよく情報にたどりつく空間づくりや空間と資料を活かした魅力的な展示法について、公共図書館における「音」と「香り」による快適な空間づくりの先進事例、大学図書館での見せる書架やプレゼンテーション・スペースの活用、新しい空間づくりによって学習行動がどう変化したか等について、事例を紹介します。発表を通して、新たな専門図書館の場づくりを考えましょう。

① 尼川ゆら氏 (空間コンサルタント)
「 図書館を演出するー専門図書館の
場づくりと魅力的な展示法 」

② 細川博史氏 (㈱図書館流通センター)
「 滞在環境を変えるー
音と香りの空間創り 」

③ 伊勢幸恵氏・中原由美子氏
(千葉大学附属図書館)
「 千葉大学アカデミック・リンク
ー新しい学習空間はどのように利用され
ているかー 」

司会 : 森未知 ((独) 国立女性教育会館) 運営 : 豊島京子 ((公社) 全国市有物件災害共済会防災専門図書館)

専門図書館協議会事務局あて (FAX : 03-3537-8336)

平成 26 年度全国研究集会参加申込書 (会員用)

1. 会員種別 : 正会員 賛助会員 個人会員

(フリガナ)

2. 参加者氏名 : _____ ㊦ 同一機関複数参加 あり なし
*同一機関で複数参加の場合は、「あり」にマークの上、それぞれの参加者がお申し込みください。

3. 所属機関名 : _____

住 所 : 〒 _____

電話番号 : _____

FAX 番号 : _____

E-mail : _____

4. 参加希望会合

7月8日(火) 全体会 ※出欠の何れかに○印をお付け下さい。		
13:30~17:10	全体会(開会式・記念講演)	出欠
17:20~19:00	全体会(会員交流会)	出欠
7月9日(水) 分科会 ※午前・午後とも、一つの分科会を選択し、○印をお付け下さい。 (分科会は、会場の都合によりご希望に添えない場合もありますので、その場合はメールで、ご連絡をします。あらかじめご了承くださいませようお願いします。)		
9:30~11:30	第1分科会「コンソーシアム活動の課題と展望 : 電子資料の安定的提供のために」	
	第2分科会「専門図書館員のための認定資格制度を考える」	
	第3分科会「企業図書館と著作権の今」	
13:00~16:00	第4分科会「つながる専門図書館」	
	第5分科会「図書館の価値を高める」	
	第6分科会「場としての専門図書館」	

【お支払いについて】 (該当する□にチェックをつけてください)

事前に振込 事後に振込 (月 日予定)

請求書の宛名 : _____

平成 26 年度全国研究集会参加申込書 (非会員用)

(フリガナ)

1. 参加者氏名 : _____ (印)

2. 所属機関名 : _____

住 所 : 〒

電話番号 :

FAX 番号 :

3. 参加希望会合

7月8日(火)	全体会	※出欠の何れかに○印をお付け下さい。	
13:30~17:10	全体会(開会式・記念講演)		出欠
17:20~19:00	全体会(会員交流会)		出欠
7月9日(水)	分科会	※午前・午後とも、一つの分科会を選択し、○印をお付け下さい。 (分科会は、会場の都合によりご希望に添えない場合もありますので、その場合はメールで、ご連絡をします。あらかじめご了承くださいませようお願いします。)	
9:30~11:30	第1分科会「コンソーシアム活動の課題と展望 : 電子資料の安定的提供のために」		
	第2分科会「専門図書館員のための認定資格制度を考える」		
	第3分科会「企業図書館と著作権の今」		
13:00~16:00	第4分科会「つながる専門図書館」		
	第5分科会「図書館の価値を高める」		
	第6分科会「場としての専門図書館」		

E-mail :

※分科会は、会場の都合によりご希望に添えない場合もあります。その場合はメールでご連絡をします。あらかじめご了承くださいませよう願います。

4. 参加費 23,000円

【お支払いについて】(該当する□にチェックをつけてください)

事前に振込 事後に振込 (月 日予定)

請求書の宛名 : _____